



令和元年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進にかかる施策方針

まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進を目的として、令和元年5月に策定した施策方針の取組結果について、次のとおり報告します。

令和2年3月

都市整備部長 長谷川伸英

1 総括

- 1 道路施設の長寿命化や生活道路の修繕を行い、安全・安心な道路環境整備に努めました。また、福井国体で実施した美しいまちづくりを継続し、街路樹や道路の清掃を行うとともに、道路空間の美化保全を市民協働で取り組み、美しい魅力あるまちづくりの推進に努めました。
- 2 近年多発する大規模災害の未然防止のため、河川や雨水幹線の整備、田んぼダムの整備区域の拡大、河川の浚渫や立木伐木による洪水被害の軽減や治山ダムの整備などによる土砂災害の防止を図り、市民が安心して住み続けることができる水害に強いまちづくりの推進に努めました。
- 3 農地の集積・集約化および効率的かつ安定的な農業経営を図るため、新たな集落基盤整備事業により老朽化した農業用排水路の更新整備と、集落道の拡幅等の整備を行いました。また、継続的な森林経営のための基盤整備と併せて、里山環境保全のための森林保全整備などに取り組みました。
- 4 北陸新幹線整備の推進のため、支援計画に基づき地域振興策の対応を行いました。また、工事による生活環境への影響についても、鉄道・運輸機構、県、施工業者と連携を取りながら沿線住民の安全安心の確保に努めました。
- 5 安全で安心して住み続けられる都市空間の形成に向け、立地適正化計画等の説明・協力を求めるとともに、(仮称)西山公園・鯖江IC連絡道路の整備について関係機関と協議を進めました。また、西山公園のトイレ改修と防犯カメラ設置を実施し、公園が市民に愛される憩いの場となるように、公園施設の快適性と安全性の向上を図り、賑わいのある中心市街地の形成を推進しました。
- 6 老朽・危険空き家の発生防止、空き家の有効利用、流動化を図るため、空き家情報バンクを活用し、情報の発信に努めました。また、戸別訪問等直接的な広報活動による民間木造住宅の耐震化率向上、長寿命化計画に基づく市営住宅の改善に取り組み、安心して快適に暮らせるまちの創造に努めました。
- 7 地震等災害に強い水道施設整備として管路の耐震化を進め、安全でおいしい水の安定供給に努めました。また、水道事業経営の健全化に取り組むため、余剰施設を廃止しました。
- 8 公共下水道および農業集落排水の未接続世帯への戸別訪問による普及促進や合併浄化槽設置補助を利用した設置促進を行い、公共用水域の水質保全に努めました。また、施設の適正な資産管理、維持管理費の縮減など下水道事業経営の健全化を図るため、公共下水道施設ストックマネジメント実施方針を策定しました。



SDGs推進に係る重点取組項目



目標11「住み続けられるまちづくりを」の達成を目指し、道路・河川・公園・下水道・駐車場などの都市施設整備や市営住宅の改善事業を積極的に取り組みました。

また、目標6「安全な水とトイレを世界中に」および目標15「陸の豊かさを守ろう」の達成を目指すため、水源涵養や生態系保全、森林の景観再生や林道整備、上水道管路の耐震化の推進により安全でおいしい水の安定供給を行い、下水道接続の普及促進にも努めました。

2 課題

- 1 計画的に道路施設の長寿命化を実施し、安全・安心なまちづくりに取り組むとともに、福井国体で実施した美しいまちづくりの推進を継続し、道路空間の美化保全に取り組む必要があります。
- 2 市民の生命や財産を水害から守り、安全・安心なまちを創出するため、引き続き雨水幹線の整備を行うとともに、更なる治水対策として田んぼダム事業の整備区域拡大に取り組む必要があります。
- 3 効率的かつ安定的な農業経営を図るため、老朽化した農業用排水路の更なる更新整備を行う必要があります。また、持続的な林業経営や森林の有する多面的機能の発揮のため、基盤整備と併せて間伐等の森林整備を適切に行う必要があります。
- 4 北陸新幹線整備事業は、沿線集落への地域振興策のほか、新幹線で支障となる道・水路の付替工事についても対応する必要があります。また、建設工事による生活環境への影響についても、鉄道・運輸機構、県、施工業者と連携を取りながら対処する必要があります。
- 5 北陸新幹線敦賀開業や国道417号冠山峠道路開通による首都圏・中京圏との交流促進や関係人口の創出に向け、引き続き（仮称）西山公園・鯖江IC連絡道路の整備実現に向け関係機関と協議を進める必要があります。また、賑わいのある中心市街地に寄与するため道の駅と西山動物園との連携を図り、西山公園全体の魅力を向上させる必要があります。
- 6 事業者版空き家利活用支援事業、子育て・移住者空き家購入支援事業を通して、空き家の有効活用、危険空き家の発生防止、市外からの企業進出や交流人口、定住人口の増加、子育て世帯の住環境の向上を図ってきましたが、更なる空き家情報バンクを活用した情報発信や、住宅所有者の空き家を発生させないための意識改革を促す必要があります。
- 7 人口減少、節水機器の普及に伴い、水道料金収入の減少が見込まれ、安全で強靱な水道を持続して運営するためには、老朽施設の更新や耐震化を計画的に進めるとともに、補助事業の活用や料金改定など健全な企業経営に努めていく必要があります。
- 8 人口減少、節水機器の普及に伴い、下水道使用料収入の減少が見込まれ、一般会計に依存しない事業運営が課題となっています。今後、下水道事業の健全化の取組みとして、接続率の向上や料金改定を含めた財源確保のほか、施設の長寿命化など整備計画の平準化を進めていく必要があります。

3 重点的に進める項目の取組結果

<取組項目> □ □ 	<取組結果>
<p>1. 安全安心な道路環境とまち美化の推進</p> <p>安全・安心な道路環境とするため、長寿命化修繕計画に基づき道路施設の適正な維持管理に努め、快適な歩行空間整備や街路樹や道路の清掃に取り組みます。また、冬期間の安全を確保するため、消雪施設の適正な維持管理に努めます。さらに、道路・河川の里親制度を普及し、市民とともにまち美化に努めます。</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>安全・安心な道路環境とするため、鯖江駅北線の歩道段差解消工事や長寿命化計画に基づき仲谷橋・西前田橋の修繕を行いました。快適な歩行空間の整備として、道路清掃車により有定鳥羽線他4路線の清掃を行い、メガネストリートの整備も行いました。冬期間の安全確保のため杉本糺1号線他3路線の消雪ポンプ引上げ点検を行い、さらに、里親制度では普及啓発を行い、1件の新規登録がありました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 橋梁長寿命化事業 (6m以上の修繕工事の実施) 2橋 ◆ 消雪水源施設点検整備 4箇所 ◆ 道路美化延長 (スーパーによる道路清掃) 10,000m ◆ 鯖江駅北線の道路改良 (歩道段差解消、消雪整備) 150m ◆ 街路樹へのガザニア植栽 (メガネストリート) 1箇所 ◆ 道路・河川里親の新規登録数 (H30年度末 登録数41件→42件) 1件 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 橋梁長寿命化事業 (6m以上の修繕工事の実施) 2橋[A] ◆ 消雪水源施設点検整備 4箇所[A] ◆ 道路美化延長 (スーパーによる道路清掃) 10,000m[A] ◆ 鯖江駅北線の道路改良 (歩道段差解消、消雪整備) 180m[A] ◆ 街路樹へのガザニア植栽 (メガネストリート) 1箇所[A] ◆ 道路・河川里親の新規登録数 (H30年度末 登録数41件→42件) 1件[A]
<p>2. 災害に強い河川等の整備</p> <p>市民の生命や財産を水害から守るため、県と連携して治水対策(河和田川、吉野瀬川の改修など)や土砂災害防止対策に取り組みます。また、安全・安心なまちを創出するため、雨水幹線(御幸神中一号雨水幹線・日之出舟津雨水幹線・丸山二号雨水幹線など)の整備を推進するとともに、田んぼダムの区域拡大により河川の負担軽減を図ります。</p>	<p>【成果等】 目標達成にはいたりませんでした。</p> <p>河川は河和田川・吉野瀬川の改修について県に対し重要要望等を行い、3か年緊急対策に基づく立木伐採や浚渫等について、県と連携を図りながら推進し、雨水幹線については、御幸神中一号、水落舟津、日之出舟津、丸山二号の整備を行い、日之出舟津および丸山二号については完成しました。また、別所町、上河端町、田村町等で田んぼダムを整備し、河川の負担軽減に努めました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 河川施設の整備延長 (H30年度末 整備率60.9%→62.1%) 600m ◆ 河川の適正な維持管理(浚渫、伐木) 3河川 ◆ 土砂災害防止施設の整備促進 (新規採択：上山川 早期完成：小谷川、上谷川、毘沙川) 4箇所 ◆ 雨水幹線・支線排水路の整備延長 (H30年度末 整備率45.4%→45.6%) 600m ◆ 論手川拡幅工事の推進 (整備全体延長 L=1,620m) 300m ◆ 田んぼダム整備面積 120ha 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 河川施設の整備延長 (H30年度末 整備率60.9%→61.5%) 300m[C] ◆ 河川の適正な維持管理(浚渫、伐木) 3河川[A] ◆ 土砂災害防止施設の整備促進 (新規採択：上山川 早期完成：小谷川、上谷川、毘沙川) 4箇所[A] ◆ 雨水幹線・支線排水路の整備延長 (H30年度末 整備率45.4%→45.6%) <u>614m[A]</u> ◆ 論手川拡幅工事の推進 (整備全体延長 L=1,620m) 75m[C] ◆ 田んぼダム整備面積 62ha[C]

< 取組項目 > □ □		< 取組結果 >	
3. 農林業生産基盤整備の推進 農業生産基盤の老朽化に伴う維持管理費の軽減および生産効率の向上を図るため、老朽化した農業用施設の整備を実施します。また、森林は水源涵養や生態系保全、里山としての市民の憩い場といった様々な機能を有しており、その機能を維持発揮するため、効率的な林業経営に資する林道などの基盤整備および自然環境や生態系に配慮した森林整備を実施します。さらに、管理が放置された放置林の解消に向けた取組みを実施します。		【成果等】 目標を概ね達成しました。 農業生産基盤の老朽化に伴う整備に関して、概ね計画どおり実施し、維持管理費の軽減および生産効率の向上が図られました。 一方、効率的な林業経営に資する林道などの基盤整備の一部工事が現場条件の悪化により繰越となりました。その他森林の多面的機能を維持発揮させる事業および放置林の解消に向けた取組みについては計画どおり実施しました。	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 農業用排水路、道路整備 8路線 ◆ 林道整備延長（路線改良、排水改良） 1,100m ◆ 森林景観の再生（雑木伐採、花木等植栽） 2地区 ◆ 管理放置林の解消に向けた意向調査準備 3月 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 農業用排水路、道路整備 8路線 [A] ◆ 林道整備延長（路線改良、排水改良） 536m [C] ◆ 森林景観の再生（雑木伐採、花木等植栽） 2地区 [A] ◆ 管理放置林の解消に向けた意向調査準備 3月 [A] 	
4. 北陸新幹線の着実な推進 北陸新幹線整備事業は、沿線集落との協議が十分に行われるよう鉄道・運輸機構、県と地元との関係の調整を図ります。また、沿線集落からの要望については市の整備計画に基づき計画的に実施し、用地協議や工事が円滑に推進するよう努めます。		【成果等】 目標を達成しました。 北陸新幹線整備事業が円滑に進捗するよう、調整会議を開催し、鉄道・運輸機構、県と地元との意見調整を図りました。また、沿線集落の地域振興策についても、市の整備計画に基づき実施しました。	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域振興策の実施（吉谷町公民館等の整備） 1箇所 ◆ 沿線集落との調整会議 10回 ◆ 広報紙等での市民への情報提供 2回 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域振興策の実施（吉谷町公民館等の整備） 1箇所 [A] ◆ 沿線集落との調整会議 15回 [A] ◆ 広報紙等での市民への情報提供 6回 [A] 	
5-1. 適正な都市計画・土地利用の推進と都市施設の利便性向上 適正な都市計画・土地利用を図るため立地適正化計画を推進するとともに、駐車場や駐輪場など都市施設の更新を行い利便性向上を図ります。		【成果等】 目標を達成しました。 民間開発者に対し、立地適正化計画等の説明を行い適正な土地利用の協力を求めました。また、都市施設の定期的なパトロールや機器更新、防犯カメラの設置を行い利用者が安全・安心に利用できるよう努めました。	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 道路・土地利用等の都市計画に関する説明会やHPでの情報発信 3回 ◆ 仮称「西山公園・鯖江IC」連絡道路の整備に向けた関係機関協議 3回 ◆ 市営駐車場・駐輪場の夜間パトロール 12回 ◆ 市営駐車場・駐輪場への防犯カメラ設置 10箇所 ◆ 市営駐車場の機器更新 1箇所 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 道路・土地利用等の都市計画に関する説明会やHPでの情報発信 4回 [A] ◆ 仮称「西山公園・鯖江IC」連絡道路の整備に向けた関係機関協議 3回 [A] ◆ 市営駐車場・駐輪場の夜間パトロール 12回 [A] ◆ 市営駐車場・駐輪場への防犯カメラ設置 10箇所 [A] ◆ 市営駐車場の機器更新 1箇所 [A] 	
5-2. 魅力的で快適な都市公園の推進 都市公園の魅力向上を推進するため、西山公園を始めとする公園が市民に愛される憩いの場となるように努めるとともに、公園施設の改修を行い快適性と安全性の向上を図ります。		【成果等】 目標を概ね達成しました。 西山公園のトイレ洋式化と防犯カメラ設置を実施し、公園が市民に愛される憩いの場となるように努めるとともに、公園施設の快適性と安全性の向上を図りました。	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 道の駅「西山公園」来館者数 60万人 ◆ 西山動物園来園者数 21万人 ◆ 西山公園内の防犯カメラ設置 5箇所 ◆ 公園里親の新規登録数（H30年度末 登録数146箇所→148箇所） 2箇所 ◆ 公園案内板整備 2箇所 ◆ 西山公園トイレ洋式化 2箇所 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 道の駅「西山公園」来館者数 39万人 [C] ◆ 西山動物園来園者数 20万人 [A] ◆ 西山公園内の防犯カメラ設置 5箇所 [A] ◆ 公園里親の新規登録数（H30年度末 登録数146箇所→147箇所） 3箇所 [A] ◆ 公園案内板整備 2箇所 [A] ◆ 西山公園トイレ洋式化 2箇所 [A] 	

<取組項目> □ □		<取組結果>	
6. 安心で快適に住み続けられるまちづくりの推進 空き家情報バンクの有効活用、空き家利活用支援を通じ、利活用可能な空き家の利用促進および定住促進を図ります。 また、広報活動等による民間木造住宅の耐震化率向上、長寿命化計画に基づく市営住宅ストックの改善を行うことにより、安心して、快適に住み続けられるまちづくりに努めます。		【成果等】 目標を概ね達成しました。 空き家情報バンクによる情報発信、地域おこし協力隊の協力、空き家利活用支援事業を通じ、危険・老朽空き家の発生防止、空き家の流動化、利活用促進に努めました。 また、出前講座、戸別訪問、啓発チラシ配布等の広報活動による民間木造住宅の耐震化率向上、長寿命化計画に基づく市営住宅改善事業の実施により、安心して、快適に住み続けられるまちづくりに努めました。	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 鯖江市空き家情報バンクへの新規登録 10件 ◆ 空き家利活用支援 5件 ◆ 未耐震住宅耐震化啓発活動 5回 ◆ 市営住宅ストック改善事業の実施 2棟 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 鯖江市空き家情報バンクへの新規登録 11件[A] ◆ 空き家利活用支援 4件[B] ◆ 未耐震住宅耐震化啓発活動 6回[A] ◆ 市営住宅ストック改善事業の実施 2棟[A] 	
7. 安全でおいしい水の安定供給 地震等の災害時においても、重要施設や避難施設へ安全な水道水を持続して供給するため、重要管路の耐震化を図ります。また健全な事業運営のため、余剰施設を廃止します。		【成果等】 目標を達成しました。 地震等の災害時に重要施設や避難施設への給水を確保するため、重要管路の耐震化を進めました。また健全な事業運営のため、余剰施設の廃止を行いました。	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 耐震管路の整備延長 (H30年度末 整備率61.7%→62.8%) 770m ◆ 余剰施設の廃止 1件 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 耐震管路の整備延長 (H30年度末 整備率61.7%→62.8%) 909m[A] ◆ 余剰施設の廃止 1件[A] 	
8. 下水道の普及促進 公共下水道および農業集落排水への接続や認可区域外等に合併処理浄化槽の設置を促進し、市民の生活環境の改善のため公共用水域の水質保全に努めます。特に、未接続宅に下水道接続依頼の訪問を行い、水洗化率の向上を図ります。また、不明水家屋調査を実施し、誤接続等の指導改善を行います。		【成果等】 目標を概ね達成しました。 下水道への新規接続件数は、公共24件・農集10件の成果となりました。合併処理浄化槽の設置件数は、需要の減少により14基となり目標値に届きませんでした。下水道未接続世帯への普及促進は214件の戸別訪問を行いました。不明水家屋調査は100戸実施しました。公共下水道施設ストックマネジメント実施方針を策定しました。	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 下水道新規接続の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道の接続率 (H30年度末 93.8% → 93.9%) 新規接続件数 20件 ・ 農業集落排水の接続率 (H30年度末 92.2% → 92.3%) 新規接続件数 10件 ◆ 合併浄化槽の設置基数 30基 ◆ 未接続宅に対する接続依頼訪問戸数 200戸 ◆ 不明水家屋調査の実施戸数 100戸 ◆ 公共下水道施設ストックマネジメント実施方針の策定 3月 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 下水道新規接続の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道の接続率 (H30年度末 93.8% → 93.9%) 新規接続件数 24件[A] ・ 農業集落排水の接続率 (H30年度末 92.2% → 92.3%) 新規接続件数 10件[A] ◆ 合併浄化槽の設置基数 14基[C] ◆ 未接続宅に対する接続依頼訪問戸数 214戸[A] ◆ 不明水家屋調査の実施戸数 100戸[A] ◆ 公共下水道施設ストックマネジメント実施方針の策定 3月[A] 	